# 要配慮者利用施設避難行動タイムライン

施設名:

|対象となる災害: 浸水害 ・ 土砂災害

避難確保計画:別紙1

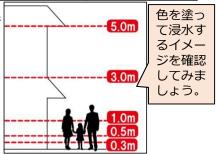
## 1. 施設の利用状況の確認 避難確保計画:様式1

種別	利用者		施設職員	
	約	名	約	名
	約	名	約	名
	約	名	約	名

### 2. 施設八ザードの確認

施設階層	浸水深
階	m

土砂災害区域 □区域外 □区域内



#### 3. 安全な避難先の検討

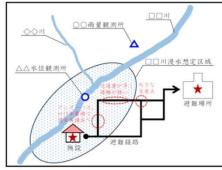
避難場所	浸水想定区域	土砂災害警戒区域
施設名:	□区域外	□区域外
階層:	□浸水深(  )m	□区域内
施設名:	□区域外	□区域外
階層:	□浸水深(  )m	□区域内

浸水想定区域外か上層階に避難が可能な避難場所、土砂災害 警戒区域外の避難場所を選定しましょう。

## 4. 避難場所までの避難経路の検討

避難経路上の安全性 (土砂災害危険個所や アンダーパス、浸水実 績等)を確認しましょ う。

屋内安全確保の場合は、 上層階への避難経路を 記入しましょう。



## 検討を始めるための準備

施設のハザードを確認するために、ハザードマップ等を入手します。

## (手書きで作成する場合)

- ✓ 市町村から配布されたハザードマップをお持ちの方はマップを用意してください。
- ✓ マップをカラーコピーする、もしくは市販の地図等を準備してください。

## (パソコンで作成する場合)

- ✓ パソコン・プリンターを使用する方は、「国土交通省ハザードマップポータルサイト」を活用して、ハザードマップを入手できます。
- ✓ 「重ねるハザードマップ」の「場所を入力」に施設の住所を入力してください。(洪水浸水想定区域図、土砂災害警戒区域等を重ねて表示することができます。)
- ✓ おかやま全県統合型GISでは、土砂災害警戒区域や指定緊急避難場所等を重ねて表示することができます。
- ※施設内で屋内安全確保を行う場合は、施設平面図を用意してください。

## 5. 避難を行うための準備や所要時間の検討

移動手段:□徒歩 □車両( )台)

避難準備から避難完了までの所要時間(合計)

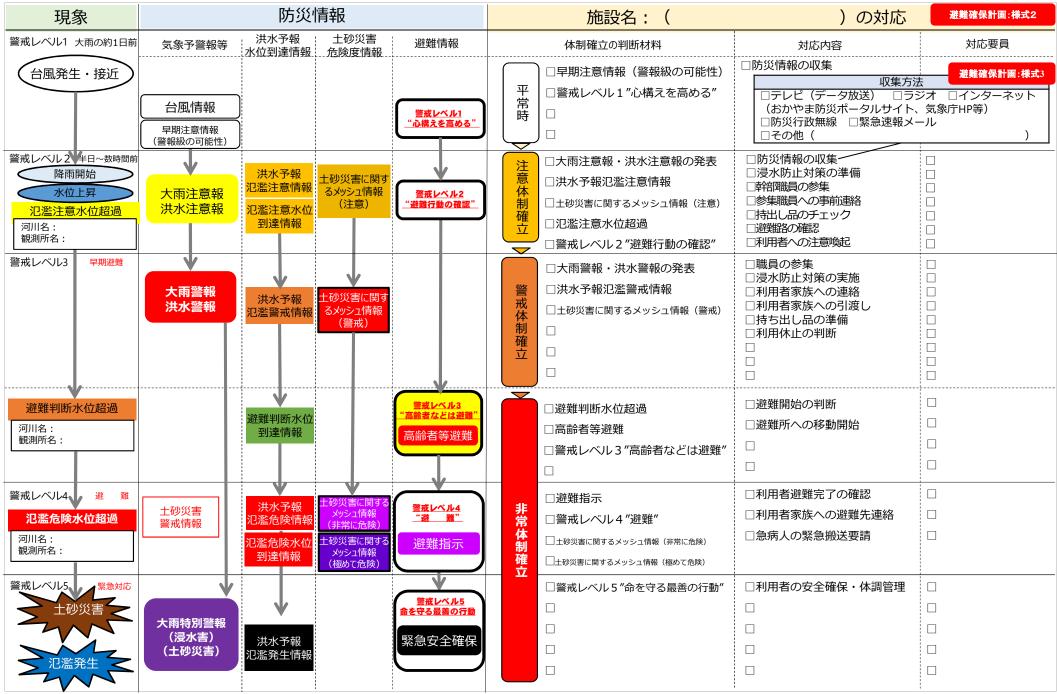
## 6. 避難に必要な備品や浸水対策資機材の確認

	対応内容	所要時間		備 蓄 品 避難確保計画:様式5
避難準備			情報収集 ・伝達	□テレビ □ラジオ □タブレット □ファックス □携帯電話 □懐中電灯 □電池 □携帯電話用バッテリー
			避難誘導	□名簿(従業員、施設利用者) □案内旗 □タブレット □携帯電話 □懐中電灯 □携帯用拡声器 □電池式照明器具 □電池 □携帯電話用バッテリー □ライフジャケット □蛍光塗料
			施設内の 一時避難	□水(1人あたり <u>ℓ)</u> □食料(1人あたり <u>食分</u> ) □寝具 □防寒具
			高齢者	□おむつ・おしりふき
			障害者	□常備薬
			乳幼児	□おむつ・おしりふき □おやつ □おんぶひも
避難所への移動	避難確保計画:様式4		そのほか	□ウェットティッシュ □ゴミ袋 □タオル □ ( )
避難場所:(	)			
移動距離: (	) m			浸水を防ぐための対策

浸水を防ぐための対策		

# 要配慮者利用施設避難行動タイムライン

#### 7. 体制確立や避難開始等のタイミングの検討:



注意)現象と防災情報の関係性は時系列が前後する可能性があります

#### 要配慮者利用施設避難行動タイムライン 記入例

施設名: 〇〇保育圖

対象となる災害: (浸水害 土砂災害

避難確保計画:別紙1

## 1. 施設の利用状況の確認

澼難確	保計画	:様式1

種別	利用者		施設職員		
ストレッチャー	約	10	名	約	2 名
車椅子	約	30	名	約	8 名
	約		名	約	名

### 2. 施設八ザードの確認

施設階層		浸水深
2	階	<b>0.5~3.0</b> m





## 3. 安全な避難先の検討

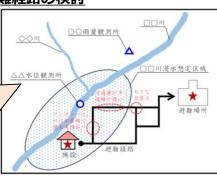
避難場所	浸水想定区域	土砂災害警戒区域	
施設名:○○ <b>小学校</b>	□区域外	☑区域外	
階層: <b>3階</b>	<b>৺</b> 浸水深( <b>0.5</b> )m	□区域内	
施設名:	□区域外	□区域外	
階層:	□浸水深( ) m	□区域内	

浸水想定区域外か上層階に避難が可能な避難場所、土砂災害 警戒区域外の避難場所を選定しましょう。

## 4. 避難場所までの避難経路の検討

避難経路上の安全性 (土砂災害危険個所や アンダーパス、浸水実 績等)を確認しましょ

屋内安全確保の場合は、 上層階への避難経路を 記入しましょう。



#### 学校出部小学校 卍 ルート(1) 地震を想定した避難訓練では、 避難準備から学校への到着まで (ルート①が浸水してお 26分かかりました。 ルート②も渋滞等で危険な 合の迂回ルート) (ルート①が浸水した 凡例 場合の迂回ルート) 0.5m未満 0.5~1.0m 出部保育園 1.0~2.0m 2.0~3.0m 3.0~4.0m ※土砂災害の危険性 があるため、浸水範 4.0~5.0m 囲外の井原体育館へ 5.0m以上 の避難は危険

110分

<u>5.</u>	避難を行うための準備や所要時間の検討
	<u>5. ;</u>

	対応内容	所要時間
避難準備	①利用者の家族への連絡	20分
	②利用者の家族への受渡し	随時
	③避難路の安全確保	10分
同時に実施一	③持ち出し品の準備	30分
	100 #M Ten (C) = 1 Ten (Aff - M)	
避難所への移動 避難場所: (	避難確保計画:様式4	60分
移動距離:	<b>」 500</b> ) m 徒歩 □車両(  )台)	

避難準備から避難完了までの所要時間(合計)

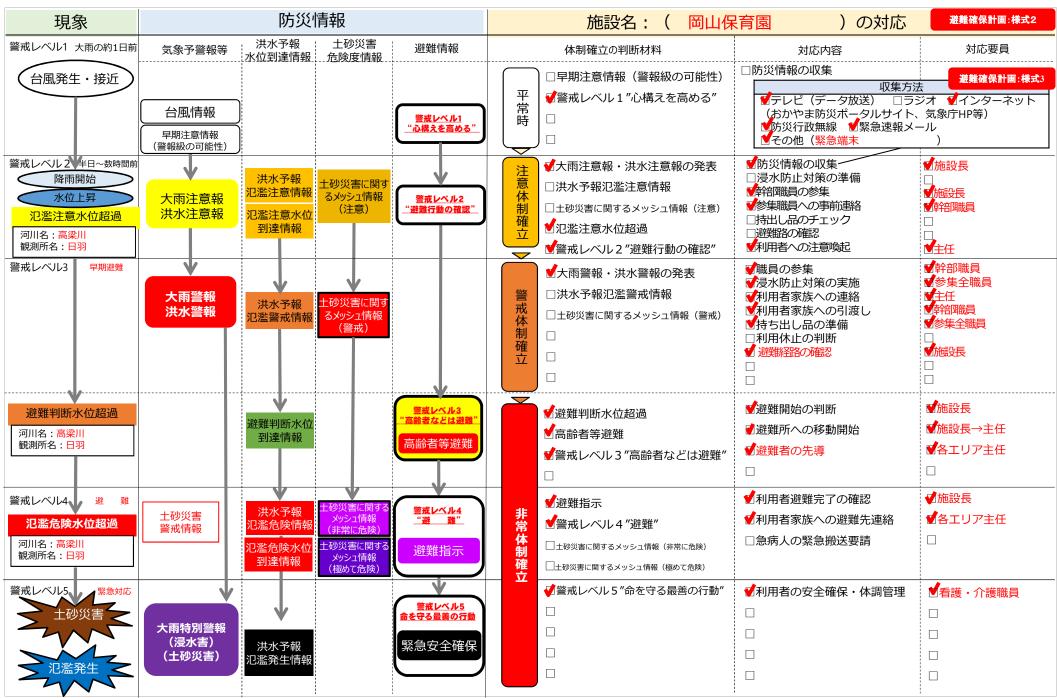
## 6 避難に必要か備品や温水対等資機材の確認

<u> </u>	יטעשיי כי ניוינאו אַכארניייניאר דו אומוויו אי אי נאי אוא
	備 蓄 品 避難確保計画:様式5
情報収集 ・伝達	▼テレビ ■ラジオ □タブレット ■ファックス 対 携帯電話 □懐中電灯 □電池 □携帯電話用バッテリー
避難誘導	▲名簿(従業員、施設利用者)。 京内旗 □タブレット ・携帯電話 宮懐中電灯 宮携帯用拡声器 ・電池式照明器具 □電池 □携帯電話用バッテリー ・ライフジャケット □蛍光塗料
施設内の 一時避難	<ul><li>水(1人あたり<u>6ℓ)</u></li><li>・②食料(1人あたり<u>9食分)</u></li><li>・②寝具 □防寒具</li></ul>
高齢者	□おむつ・おしりふき
障害者	□常備薬
乳幼児	♥おむつ・おしりふき *** おやつ □おんぶひも
そのほか	ウェットティッシュ □ゴミ袋 <b>ロ</b> タオル □ ( <b>ミルク、簡易マット</b> )

浸水を防ぐための対策	
<ul><li>★土嚢 □止水板</li><li>□そのほか (</li></ul>	)

# 要配慮者利用施設避難行動タイムライン 記入例

#### 7. 体制確立や避難開始等のタイミングの検討:



注意)現象と防災情報の関係性は時系列が前後する可能性があります